



# 排神狂会

人格排泄修道院

もう 第2話

二次元ドリームコミックス

成年  
コミック



おほっほおおお！  
とめてとめえでえー！

いやああああ  
誰かあたすけてえ  
だすけてえええええ！！



やはり大元から  
探るのがつとり  
早そうた...

この娘でもない...



「どうして！  
どうしてアナタが  
助けてくれるの!?」

「勘違いするな！  
堕天使クォーロ!!」

「お前を倒すのは  
この咬虎剣のエリート  
オレナスなのだから!!」



「だって!?  
アナタだって  
ボロボロじゃない!」

「うるさい黙れ!  
お前はそこで  
指をくわえてみていろ!!」

ほら  
やっぱりこの修道院  
のシスターはみんな  
「半分男の子」ですから

こういうので  
意気投合しないわけが  
ないんですよ

……ふう  
浮いてる子達を  
こんな方法で  
まとめるとは……

やはりお前達ふたりが  
この修道院にいて  
くれないとダメだな……

な〜に言ってるんですか  
オルガせんば〜い

オルガ先輩あつての  
私達ふたり  
じゃないスか〜

先輩の頼みなら〜  
地の果てからだって  
駆けつけますぜ〜

それにしても相談しに  
来たときの先輩の  
死にそうな顔は  
ぞそりましたなあ

悪いですぜえネイの旦那あ  
アタシらのご褒美に  
胃を痛めるのはこれから  
ですからねえ〜

高くついた

オルガ!



……ところで  
メリサなんだけどさ……

今日も  
呼んだには  
呼んだんだけど  
なしのつぶてでさ

ネイが帰ってきて  
すぐはむしろ  
いつもより元気だった  
んだよ？



それがこの数日は  
シスター長にべったり

人懐っこい子だったけど  
あそこまで他人に  
依存するような子  
じゃなかったし

あれじゃあ  
シスター長の影法師だ、  
なんて言われてるんだよ？



……ねえネイ  
まうたなんか知ってて  
抱え込んでるでしょ？

悪いところまで  
オルガ先輩と  
似ちゃうの  
よくないよ

まッ！  
アタシが言えた  
もんじゃないけどさ！

……



以上  
貴殿がシスター・メリサに  
暴行を働こうとした件

複数の証言が  
取れた……



これは  
最終通告だ

我ら聖クオーロ修道院は  
貴殿らと袂をわかっ！

これがこの修道院を  
預かる者としての  
決断だ！

申し開きは聞くつもりはない  
速やかにご退去ねがおう……





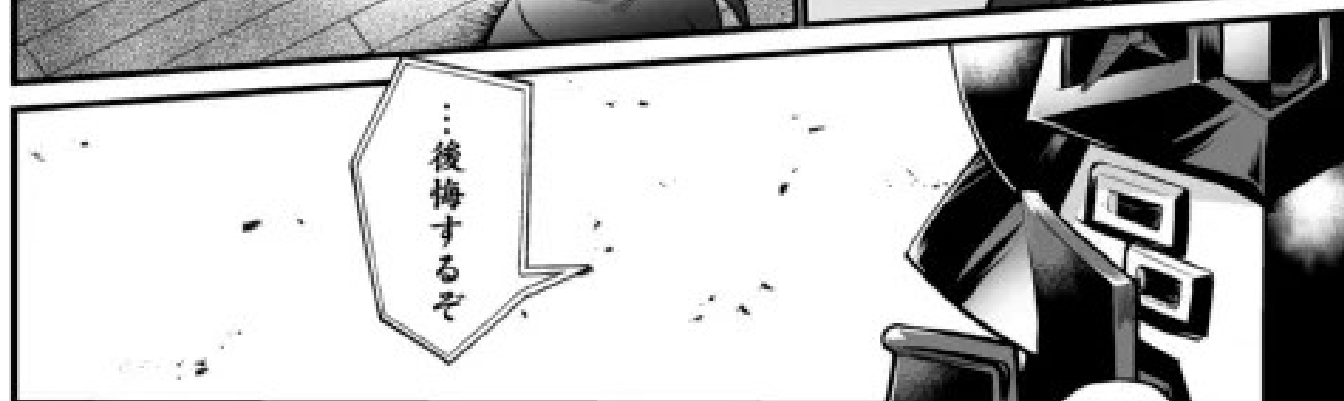
三日の猶予を与える  
それまでに修道院から  
全撤収すること……

もちろん貴殿が  
修道院に引き入れた  
『壊乱の徒』も全員だ



『四凶』殿

…



…後悔するぞ



いいえ

すでに後悔は  
し・終・え・た



それゆえの  
決別だ





行った…

肩の荷が降りた  
気分だ…

フフフ…  
今になって冷や汗が  
とまりません

これではネイ達に  
また笑われてしまいますね

くれぐれも内緒ですよ？  
シスター・メリサ……





嘘でしょ？

完全に死角から  
撃ったはずんだけど  
どういふカラクリ  
なんだか…



「イーストエンド・シミター」  
だっけ？ その剣  
そんな酔狂な代物  
腰にさげてるヤツは

『密林の騎士団』

以外にいないわ

子供だって知ってる

得体のしれない脳ミソを  
集めて機械でつなげたのを  
「神」と崇めるイカれた  
首刈りカルト騎士団…

そんな奴らの構成員が  
どうして私の修道院から  
飛び出してきたのか

くわしく  
訊きたいわね！

秘

当方に情報を開示する  
権限はない

加えて  
双方に開戦する  
道理的根拠なし

即時の武装解除を  
提案する

武装解除？  
根拠なし？

随分ナメられた  
言い回しね？

それとも腐った脳ミソの  
云うことをきいてばかりで  
自分の脳ミソの使い方  
忘れちゃったのかしら？

お前は  
私の妹分に手を出した

お前の使ってない  
その頭に  
風穴を開けるには……

十分な理由ツ!!



シシスターメリサ!

こんな悪ふきは  
おやめなさいい!

これは...!  
これは拷問です!

その濡れた布を  
往復するだけで  
私のペニスが!  
べにすがあああ!!

おっほおお!!  
オホッおほおおお!

せめて! 拘束を緩めて!  
ペニスの根本をおお!  
ゆるッ緩めてえ!!  
射精させてえええ!!

ハッ!



!?



やめてええッ!  
やめなさいい〜!

おっぱいいッ!  
私のおっぱいを  
弄ぶなあああ!

おっぱいが...あつい!  
ペニスが...灼けるッ!!

いじめるのはいいけど...

「おれは……」

そこまで！

我が信徒達の接待…  
堪能していただけたよう  
でなによりであるぞ

ご機嫌よう  
シスター・オブジアーナ…





数日前より修道院の  
飲水に我らが神より賜った  
聖水を混ぜさせてもらった

この聖水は飲んだ者の  
精神を溶かし込んだ  
まま体内に留まり...

「その時」を迎えれば  
即座に溶かし込んだ  
精神ごと凝固し体外に  
排出できるようになる……!



んんんんん!!



んオおううう  
出るッ出るう！

シスター長の顔にイイ  
出しちゃいけないもの  
出るう！ 出ちゃうう！

ワタシのおー  
ワタシの……

シスター・オルガ!?

ガクッ



このように精神の抜けた  
体は容易に操作できる

グイ

シスター・オルガ!?  
なんて…  
なんて卑劣なことを!!

それにしても…  
この修道院の  
ふたり共には  
存外困らされていてね



聖水が凝固するには  
アイツでくれないと  
だめなのだけれども

常人の倍は性欲が  
つよいふたなりの  
なのに

この修道院の  
シスターときたら  
オナニーにすら  
禁欲的で  
参ってしまったよ

さて…  
レッスンはここまで

次はシスター長…

お前の番だ！

やめなさい！  
やめてえええ！

あーほ  
あーあ  
あーあ

財  
精  
る  
う

流石は修道院  
の模範たる  
シスター長殿だ

だが  
それもこれまで

腹でシスター長殿の  
精神がプリプリの  
ゼラチンのように固まる  
のが見えるぞ

鬼族オナホでなければ  
一発で破裂するほど  
溜め込んでおられたか

これが排泄されれば  
シスター長の玉体は  
我の所有物……

するものか！  
なんとしても……  
なんとしてもこの危機を  
伝えるまでは！

四凶……  
申し訳ない！

頑なまでに貴殿らの「神」が  
情報を明かさなかったのは  
これをされた者がスパイに変貌  
しているのを警戒したためか!!!

おそびへ四凶自身にも  
知らされていない  
はず……！

だからこそ伝えねば！  
すでに、奴らは  
修道院の中にいると!!

おやおやおや？  
シスター長は  
酷い便秘であられる  
ようだ

はい

メリサオルガ  
シスター長の尻穴を  
お拭きあげあそばせよ……

っ!?  
ウソッ  
いやッそんな両手!?  
無理! むりッ!!  
入るわけない!!



おおっきょおおお!!

ガッ



あった...

ガッ



一気に行くぞ

悲鳴を聞かせる

!?





あああ！  
私の！  
私の体がああ！！

猛獣に狙われているのに  
自ら番犬を放逐した  
愚か者の最後としては

ふさわしい悲鳴で  
あったぞ？

ムン...



さて  
此処からは  
勝利の美酒を

堪能させて  
いただく

グ

あああ！  
やめろ！

そんな娼婦のようなことを  
私の体にさせるなあつ！

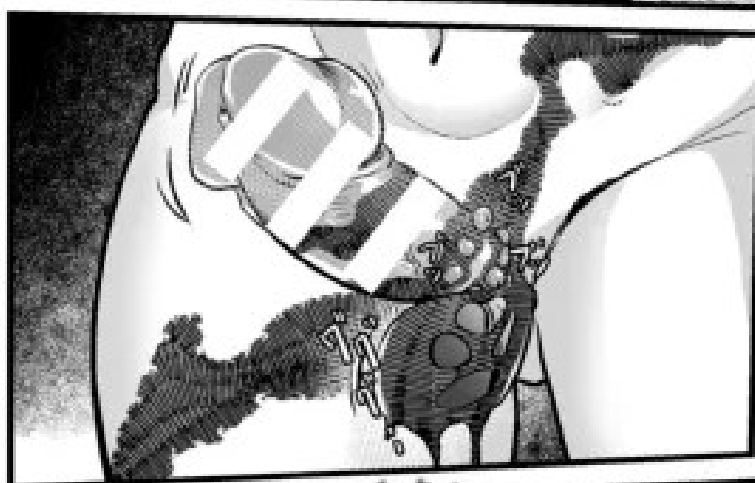
これは堪能しがいが  
あるデカ尻だ！  
修道服のなかに押し込めて  
おいたのは間違いだらう？

味わい尽くすには  
竿が足りぬな…

ベ

チカ







意識が体に…

んっんっん!!

けど自由が利かない！  
勝手に腰があがる！



シスター長 of 処女と処女  
2つ同時に戴こう…

いやああ！  
やめなさい！  
やめてえ！  
やめてえええええッ!!!



おほおおあああ！  
マンロガ！  
マンロガ重なってるよう

こんなの  
こんなの耐えられない！

イボチンボで  
マンロガ重なってるよう！

オルガの剛直オーチンボおお  
硬くて力チ力チなのおおお！

こわいゆいゆい！

こわえちやうい  
だれかあ！  
だれかあだすへ  
おおおっほおおおおおお！！

ばちばちばちばち

おおおおおお

人の手の助けなど  
無い…

そして  
果てる

これぞ我が神の  
救済と知れ…







二次元ドリームコミックス

# 排神狂会

人格排泄修道院

【第2話】

著者  
もう

装丁  
マイクロハウス

編集  
キルタイムコミュニケーション

発行  
株式会社キルタイムコミュニケーション

〒104-0041 東京都中央区新富1-3-7 ヨドコウビル1F

●編集部 TEL.03-3551-6147 / FAX.03-3551-6146

●販売部 TEL.03-3555-3431 / FAX.03-3551-1208

※本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配付・送信したり、  
ホームページ上に転載することを禁止します。  
本作品の内容を無断で改変、改ざん等行うことも禁止します。  
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

©もう

<https://ktcom.jp/>

【本作品のご意見、ご感想をお待ちしております】

本作品のご意見、ご感想、読んでみたいお話、シチュエーションなど  
どしどしお書きください！ 読者の皆様の声を参考にさせていただきたいと思います。  
手紙・ハガキの場合は裏面に作品タイトルを明記の上、お寄せください。

◎アンケートフォーム◎

<https://ktcom.jp/goiken/>



◎手紙・ハガキの宛先◎

〒104-0041 東京都中央区新富1-3-7 ヨドコウビル

(株)キルタイムコミュニケーション 二次元ドリームコミックス感想係

